黒岩探訪 検索
黒岩探訪バックナンバーが小学校のウエブページに載っています。「黒岩探訪」で検索してください。

黒岩探訪 たんぼう 31

KUROIWA くろいわ

ホタル観賞のタベ

黒岩地区地域づくり協議会主催（担当環境美化部）で6月16日に第三回「ホタル観賞のタベ」が開かれました。天候がよければたくさんのホタルを見られるようですが、当日は時間によっては小雨が降り、私が見た中では多いときで十匹ほどでした。昨年は、結構な数のホタルを観賞できたとのことでした。

場所は、下黒岩字大平の谷津です。ホタルはご存知のように自然環境豊かな水辺がないと現れません。これは、ホタルの幼虫がえさとして食べるカワニナ（巻き貝）がせい息していないとホタルも生きていくことができないからです。

ここ大平の谷津は、黒岩探訪9・10で谷津を取り上げた時24番を振った堤が奥にあります。この堤から下流方向に約五百メートルほど水田が続きます。昨年度各谷津を見て回ったときに現在でも水田の活用率が高い谷津として印象に残った所です。

また、用水路が現在でもコンクリート化されていないで自然のままの流れになっています。水田への水口も土管を通すだけのシンプルなもの（左下写真）で昔からの方法を受けついでいる様子が分かります。

この日のために、地域づくり協議会の方々が特別な飼育をしているわけではないそうです。自然な状態で、ある時期のある時刻（20時頃）ホタルの群舞が見られるのは、この谷津の水田が継続され、水辺環境が整っているからであると言えそうです。

当日集まっていた方々のお話では、昔は、ホタルはそれほど珍しいものではなく、黒岩地区内でもあちこちで見られたそうです。現在はどうでしょうか。時期になるとたくさんのホタルを見られるところは黒岩の中ではここだけなのでしょうか。

当日何人かの小学生に会いましたが、学校の子供たちも小さい頃にホタルを見る経験はなくなってきているようです。自然環境豊かなところへ夜一人で出かけるのは大人でも難しいと思います。もし、来年度以降もこの会が開催されるようなら、お子さんやお孫さんと一緒に出かけられてはいかがでしょうか。